文化財修理技術保存連盟会員

構成7団体

（一社）日本伝統建築技術保存会
　会長　鳥羽瀬　公二
（一社）日本伝統瓦技術保存会
　代表理事　竹村　優夫
（公社）全国社寺等屋根工事技術保存会
　会長　大野　浩二
全国文化財壁技術保存会
　会長　安達　保信
（一社）社寺建造物美術保存技術協会
　会長　デービット・アトキンソン
（一財）全国伝統建具技術保存会
　会長　石山　孝次郎
文化財畳保存会
　会長　佐竹　真影

鏡開き

乾杯のご挨拶

文技連名誉顧問・全国国宝重要文化財所有者連盟常務理事
　後藤　佐雅夫氏

ユネスコ無形文化遺産に17団体が登録され、誠におめでとうございます。

このことの始まりは文化庁の選定保存技術「保持者・保存団体」の認定からであり、研修の実施は公益財団法人文化財建造物保存技術協会がされ、公益社団法人全国国宝重要文化財所有者連盟が平成10年に「伝統技術保存団体連絡協議会」を発足し、毎年3月に総会を実施してまいりました。

その後、「文化財修理技術保存連盟」が結成され、発展してまいりましたが、潤沢に仕事があるわけでもありません。特に大手建設に丸投げし、下請けになることは避けなければなりません。各種団体に分離発注でなければよい仕事はできません。そのために各団体があるのです。個人的な事ですが、私の父も京都府の監督を昭和5年(1930)から文化財修理工事に関係し、親子で90年間文化財関係の仕事をさせていただき、今回のことは父も喜んでいると思います。しかし、このことは本日、出席の皆様の先代、先々代等の努力のお陰で、一夜にしてその技術が完成されたものではありません。そのためには資金的援助、技術的な援助、それに材料の確保も必要であり、問題は山積しています。このことを克服してこそ、次世代に技術の伝承ができるのであります。

当日は乾杯の発声だけでありましたが、お祝いの言葉が十分に伝わらず追加しましたことをお許しください。（乾杯発声のご挨拶のため、後藤先生には後日祝辞を頂戴いたしました。）

一同乾杯

これにより、記念奉祝会は無事終了致しました。

編集、写真共
（有）竹村瓦商会
竹村　登茂枝

出席ご来賓及び関係者（敬称略）

- 京都府副知事　山下　晃正
- 京都市長　門川　大作
- 文化庁地域文化創生本部　事務局長　三木　忠一
- 文化庁地域文化創生本部　文化財調査官　浜田　泰栄
- 文化庁地域文化創生本部　文化財調査官　岡本　公秀
- 伝統建築工匠の会　幹事　船戸　輝久
- 京都府文化スポーツ部　文化政策室長　嶋津　誉子
- 京都府教育庁指導部文化財保護課　課長　森下　衛
- 京都府教育庁指導部文化財保護課　参事　小宮　睦
- 京都市文化市民局　文化財担当部長　山口　壮八
- 京都市文化市民局　文化財担当課長　中川　慶太
- （一財）京都伝統建築技術協会　理事長　持田　武夫
- （一財）京都伝統建築技術協会　中村　伸夫
- 明日の京都　文化遺産プラットフォーム　副事務局長　井上　卓也
- 文化財修理技術保存連盟　名誉顧問　後藤　佐雅夫
- 文化財修理技術保存連盟　参与　西澤　政男